

体質検査結果

結果相対表 - 簡易版 -



各遺伝子型の詳しい解説は
facebook ページを見てね

項目	関係する体質	Wタイプ	Hタイプ	Vタイプ
bcg0001	DNA の修復能力	普通	高め	高め
bcg0002	(乳がん等) 腫瘍への耐性	普通	高め	高め
bcg0003	高血圧への耐性	高め	普通	普通
bcg0004	カフェイン摂取による 糖尿病抑制効果	なし	小さな抑制効果	小さな抑制効果
bcg0003	耐糖能力	高め	普通	普通
bcg0004				
bcg0005				
bcg0006	脂肪蓄積能力	普通	やや高め	高め
bcg0006 bcg0007	体重の増加能力	普通	やや高め	高め
	2型糖尿病へのなりやすさ	普通	高め	高め
	食事改善や運動による 体重管理効果	普通	高め	高め
bcg0008	肥満耐性	普通	高め	高め
bcg0009	高血圧への耐性	普通	やや高め	高め
	高塩分食習慣の場合の 血圧への影響	普通	普通	大きめ (高血圧耐性の高さが減少)
bcg0010	腎臓機能・高血圧への耐性	普通	やや高め	高め
bcg0011	カフェイン摂取による 睡眠への影響	妨げられにくい	—	—
bcg0012	コエンザイム Q10 の量	普通	普通	多め
	糖尿病性腎症への耐性	高め	普通	普通
	(喫煙と関係のない) 肺がん・乳がん等への耐性	高め	高め	普通

◎感受性や体質傾向、体質別お勧めフードなどは” EATDIET +” で確認できます。

*” EATDIET +” は EATDIET 結果活用専用サイトです。

※上記の表をまとめるにあたっては、世界各国での研究報告をもとに数多くの報告例があり、かつ各報告の間の整合性が再検証されている内容をできる限り掲載しています。但し、最新の知見をもとに予告なく表現が修正される場合がありますのでご了承ください。

※bcg0004 等の研究においてカフェイン摂取による良性的効果も示唆されていますが、どのタイプの方にとっても過剰なカフェイン摂取は体に良くない影響があり得る点にもご注意ください。

※上記項目のうち「乳がん耐性」、「肺がん耐性」、「糖尿病へのなりやすさ」等の差異は統計手法により得られた傾向を示すものです。検査項目の遺伝子部位が必ずしもそれらの疾病の決定的な原因ではない点に留意しつつ、健康管理にお役立ててください。また当検査に含まれる部位以外にもこれらの項目の傾向に寄与する遺伝子部位があり、総合的な体質が表示と異なる場合もあり得る点もご了承ください。

※「脂肪蓄積」、「体重」、「肥満」、「高血圧」等に係る項目は食生活や年齢などの要素を統計的に補正した平均的な人の遺伝子タイプによる傾向を示しています。生活スタイルによっては当検査結果から得られる体質と異なる傾向になることがある点にもご注意ください。

※どの検査項目においても「Hタイプ」と「Vタイプ」では厳密には体質が異なると考えられていますが、差異が小さく、既存の各種研究報告において十分な統計的有意差が確認されていない場合、ここでは同じ表現で傾向を表示しています。